

委員会の焦点

～委員会審査報告から～

広丘駅いよいよ着工へ

経済建設委員会

当委員会には、7件の議案と請願2件が付託されました。地域の夢であった広丘駅の新築工事がいよいよ着工の運びとなり、18・19年度工事として、総額10億7千万円余。そのうち自由通路等の都市側施設工事を、4億

6千万円余でJR東日本へ工事委託するための協定の締結を承認し、いよいよ着工へということになりました。完成については、平成20年春のダイヤ改正時に供用開始となるようにしたいとの説明もありました。又、情報プラザ東側に建設される塩尻インキュベーションプラザの運営に係る条例の審議も行われ、本年12

月オープンを目指し工事が順調に進捗している旨の説明もありました。多くの人が出入りするなど、賑い創出にも一助となるのが期待されるものです。更に、中心市街地活性化事業に係る基本計画策定委託料として320万円の補正予算も認めることとしました。この計画についても、市民の関心が深いものであります。

高校の人材育成に期待

福祉教育委員会

福祉教育委員会では6月15日に委員会を開き、人事案件2件、一般会計補正予算1件、請願1件、陳情2件について審査しました。教育委員の任命について、どのような観点で選任しているのかとの質問があり、

年齢性別等に著しい偏りのないよう配慮し、広い見識を有する者を幅広い分野からお願しているとの答弁がありました。教育費の補正予算のうち、武蔵工大第二高等学校50周年記念事業の研修棟建設事業への補助金について、助成の基準はあるかとの質問があり、昭和56年度に当時の塩尻高校



委員会終了後に視察を行った贄川保育園

同窓会館建設の際の助成額を参考にしたとの答弁がありました。今後施設の地域への開放や卒業後塩尻市で活躍できる人材育成をしていただくよう特に要望し、可決すべきものとなりました。義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願と、陳情2件についても採択され、賛同者名で意見書を提案しました。

歳入歳出656万円余補正へ

総務環境委員会

本定例会で当委員会に付託された案件は、条例案件が2件、人事案件が2件、補正予算など計6件でした。審査の結果、すべて原案のとおり可決または同意すべきものとなりました。消防団員の退職報奨金の支給に関する

条例改正は、法律の一部が改正されたことに伴い条例改正が必要になったもので、退職報奨金の支給額を2千円ずつ増額するものです。人事案件については、公平委員会委員および固定資産評価審査委員会委員のそれぞれ一人が任期満了となることに伴い、再び同じ方を適任者と認め議会の同意を求められた

ものです。補正予算は、今年度の一般会計補正予算（第一号）で、歳入歳出それぞれに656万2千円を追加するものでした。委員会終了後、直接担当委員会ではありませんが、利用方法が検討されている贄川小学校や植川小学校、贄川保育園の視察を行いました。



日々訓練を重ねる消防団員

広丘駅が、新しく生まれかわります。



平成20年春完成予定の新広丘駅